

# 造血細胞移植と就労について

血液疾患に対して造血幹細胞移植を受けられる方を対象に、移植後のお仕事（就労）に関する情報を提供をさせていただく資料です

移植を受けることが決まったら…

**担当医や移植コーディネーター、看護師に確認しておくこと**



- 治療の内容やスケジュール
- 入院期間の目安
- 退院後の外来通院の頻度
- 復職まで少なくともどれくらいの期間の療養（休職）が必要か



## 移植担当施設からは…

移植前に、就労に関する状況を確認させていただく場合があります

- もともと（診断時）されていた**お仕事の内容**
- 現在の**雇用・就労状況**（退職、休職、就労継続）
- 高額療養費制度や傷病手当などの**経済的な支援制度の利用状況**
- **職場の就労に関する相談担当者**

これらの情報も参考にして、移植後の就労や生活の支援につなげていきます



- 造血器疾患の治療経過においては、  
「入院期間が長い→長い休職や退職」「免疫力が低下する」  
「移植片対宿主病（GVHD）などの移植後の合併症」などの特徴があります
- 移植後に復職やその後の就労継続をするためには、  
**患者さんと雇用側（勤務先）と治療担当チーム**が協力・情報共有することが重要です

多くの移植経験者が、職場の配慮を得ながら復職をしています

移植から**1**年後に復職→**38%**、**2**年後に復職→**58%**、**5**年後に復職→**76%**

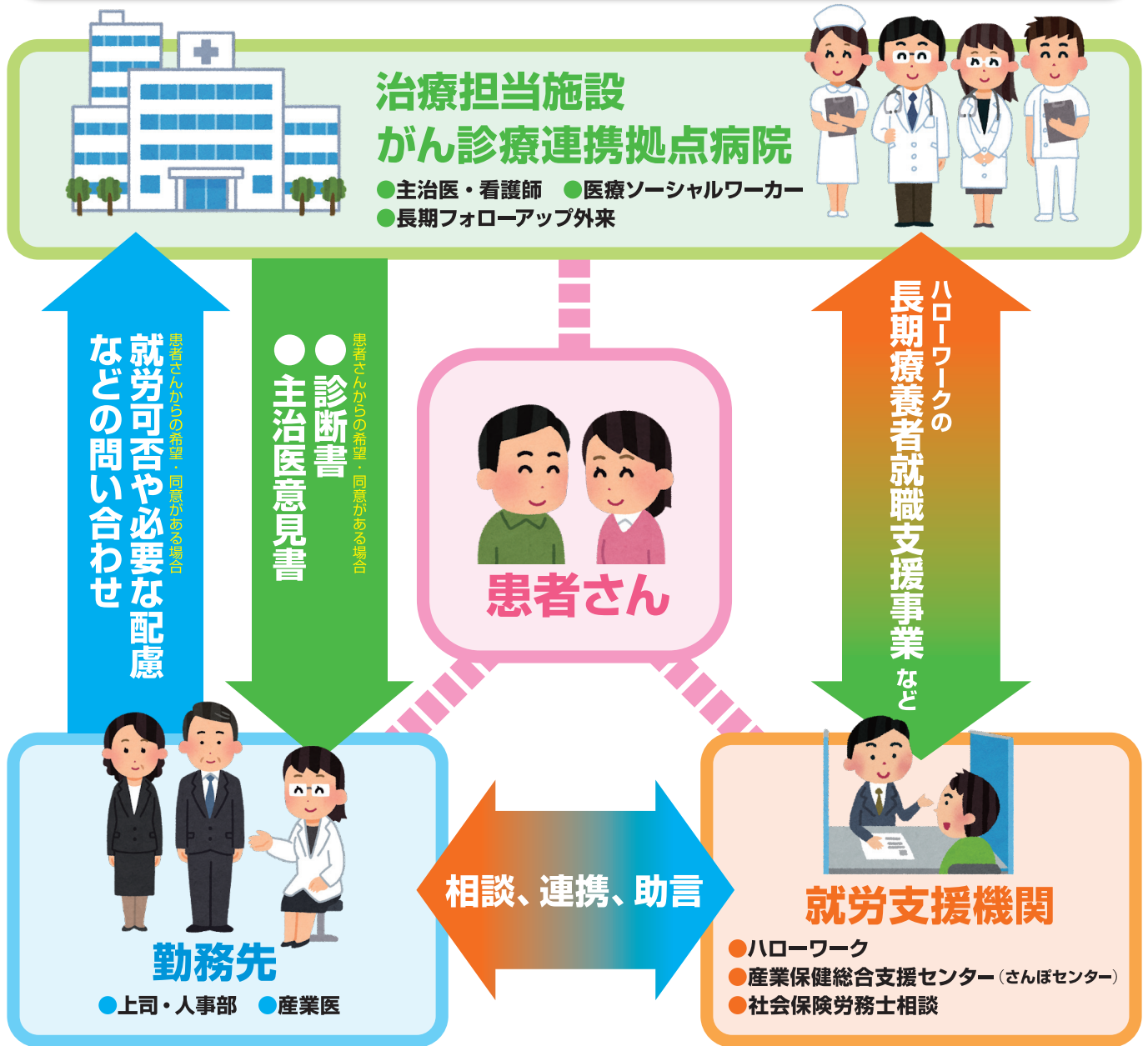
（調査時65歳以下、時短やフレックスなどの配慮のある復職を含む）国内の移植経験者 1,048 人の全国調査より（Journal of Cancer Survivorship 2021）

移植後  
退院された  
あとは

移植後長期フォローアップ（LTFU）外来のほか、**がん相談支援センター**などの部署でも**復職や就労継続の工夫についてご相談をお受けします**



# 就労支援のしくみ



## 新しくお仕事を探される方へ 「長期療養者就労支援事業」

入院や通院をしながらご相談していただきやすいように、がん診療連携拠点病院等における出張相談も行われています

- 患者さんの体調にあった職場を紹介してくれるハローワークの取り組みです
- 長く治療でお仕事を休まれていた方が利用できる仕組みです。是非一度、相談をしてみてください

勤務条件の変更や雇用条件についてなど職場との相談に関することは、さんぽセンターや社会保険労務士からアドバイスを受けてみましょう

ひとつ  
メモ